

一般質問

石原市長の施政方針が表明される

- 開かれた市政の実現
- 対話のあるまちづくり
 - ・住民本位の地方自治を確立
 - ・地元産業の育成と雇用の拡大
 - ・人づくり教育
 - ・医療福祉の充実
 - ・安心して安全なまちづくり
 - ・観光の振興



11名が登壇・市政を問う

行政改革について

問 旧浜岡町、旧御前崎町には、それぞれ行財政改革大綱が策定され行革が推進されておりました。究極の行革といわれる合併が四月に行われ、新市の発足により、旧二町の行政組織、各種団体の統廃合により、行財政改革が大きく前進したと思われませんが、さらにこの新市発足と共に定数管理、経常的経費、民間委託行政事務等々の見直しを含んだ行政コストの低減と組織のスリム化、行政サービスの向上に向け、行財政改革を進める事が急務だと思いますが、市長のお考えは

答 両町の行政改革大綱につきましては、平成八年に策定され、その大綱に基づいて積極的に行財政改革を推進するため、それぞれ、数値目

標を掲げた実施計画が平成十二年度から実施されてまいりました。今後は合併を契機に、「御前崎市」としての行政改革大綱を含めた実施計画を検討する必要があるかと思えます。市町村合併が究極の行財政改革であると言われておりますが、近隣町に先駆けた今回の合併であります。合併の基本原則は、「サービスは高く、負担は低く」といわれるように市民にとって不利にならないように努め、特に職員の定数については、全国類似団体を参考に適切な職員管理に努めていきたいと考えています。また、多様化する行政サービスについても新しい指定管理者制度に見られるように民間の積極的な導入、情報化時代を迎え効率的なシステムの構築、補助金等の見直しを含め投資効果のある行財政運営を図っていく。

阿南 澄男 議員